

大分教育事務所訪問 57

大分市立宗方小学校に学ぶ

学校経営から学ぶ

学校の教育目標「学び合い、支え合い、たくましく生きる子どもの育成」を達成するために、全教職員で資質・能力の3本柱と知・徳・体の9つの表を作成し、めざす子ども像のそれぞれに育成をめざす資質・能力を定めることで、教職員のベクトルを揃えています。

- 基本を身につけ、学び合う子ども（知識・技能）
- 自分や他人のことを大切にできる子ども（思考力・判断力・表現力）
- 根気強く、創意工夫できる子ども（学びに向かう力・人間性）

本校の注目すべき取組は、学校経営計画表にある取組項目については、月毎に最重点項目を定め集中的に行い、学年毎に丁寧に分析をされています。このような、一点突破全面展開の取組は、子どもだけでなく教職員も達成感を得られ、成長を感じることに繋がるでしょう。

今後は、協議の時に確認をしました、学校として育成を目指す資質・能力である「人の話を聴き、自分の言葉で話す力（言語能力）」について、日々の教育活動で意識をすることで、それぞれの取り組みが「何のために行うのか」という共通理解が図られます。そして、どのような力をつけるかという上位目標が定まると、その手段（方法）は担当者に任せることができ、担当者の当事者意識がより高くなると思われました。

授業から学ぶ

参観したどの学級も、学び向かう子どもの姿が印象的でした。特に、6年1組の社会の課題「(鎌倉幕府は) 京都ではなく鎌倉で全国を治めることができたのはなぜだろう」や、2組の社会の課題「鎌倉幕府が元との戦いで、滅亡に向かっていったのはどうしてかな」は、我々大人でも興味を持てるもので、子ども達は仮説を立て意欲的にタブレットや資料集で調べながら、自分の考えをまとめていました。改めて課題の大切さを学びました。

また、指導案の「振り返り」は教師が願う具体的なゴールの姿を「子どもを主語」にして明記しています。これからも、校内の研修において、それぞれの「振り返り」を協議することで、本時の「ねらい」との連動や評価規準がより明確になると思えます。今後は、単元計画や単元を通してつけたい力について協議をされると、より授業構想力が高まるでしょう。



課題発見力

これからどんなことをやるのかな？みんなで、どんな学び合いをやるのかな？楽しみですね。



話し合うために

先生の指示をしっかりと聞くのは、みんなで楽しく学び合うためだよね。



ファーストペンギン

最初に手を挙げて発言する人がいるから、みんなも意見が言いやすくなる。勇気のある人がいる学級はみんな成長する。



学び合い支え合い

頑張ろうとする友達を気にかける。そして、応援する。そんな学級はみんな伸びる。



想像力

1枚の絵からどんなことがわかるのか？武器、戦いの仕方、馬の装飾品、人物の表情・・・その時代の歴史がみえてくる。